

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1475100119
法人名	株式会社 アイ・ディ・エス
事業所名	第2バナナ園
訪問調査日	2018年9月27日
評価確定日	2018年11月30日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

**○項目番号について**  
 外部評価は20項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [次ステップに向けて期待したい内容]  
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 30 年度

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475100119	事業の開始年月日	平成12年4月1日	
		指定年月日	平成12年4月1日	
法人名	株式会社 アイ・ディ・エス			
事業所名	第2バナナ園			
所在地	( 212-0054 ) 川崎市幸区小倉4-6-12			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成30年8月25日	評価結果 市町村受理日	平成31年2月8日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様が施設での生活をその人らしく明るく楽しく生活できるように支援している。庭には季節ごとの花や家庭菜園で野菜を育て収穫を楽しみ、四季を感じて生活して頂いている。駐車場が目の前に2台分確保してあり外部からの来客の方にも対応できる。

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成30年9月27日	評価機関 評価決定日	平成30年11月30日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は株式会社アイ・ディ・エスの経営です。社会福祉法人ばなな会と共に川崎市を中心にグループホームを展開しており、グループ全体で10ヶ所のグループホームを運営しています。同法人は古民家を改修した造りから近代的な建物まで、様々な利用者のニーズに対応出来る事業所があることが、法人の特色でもあります。ここ「第2バナナ園」は「JR川崎駅」から、バスに乗り「小倉神社裏」から徒歩10分程の、周りには昔ながらの魚屋・八百屋が残る、趣のある市街地にあります。周辺には、古くからの小倉神社があり、夏祭りや悪疫退散の願いを込めた「きゅうりまつり」が行われています。建物は、会社の社員寮を改造してグループホームにした為、各居室は明るくて広々としています。

●事業所では、法人の社是「明るく楽しく自由に」を基に、利用者が食べて寝て過ごす自由ではなく、自ら調理やイベントに参加して「美味しかったよ」「楽しいよ」と喜び、職員は「ありがとう」とお礼の言葉を返すと言った、「明るく楽しく自由」で調和のある生活を送れるような支援を心がけています。

●管理者は、今年の7月に着任したばかりですが「①地域との交流を広げる②職員のモチベーションを高める」を目標に取り組んでいます。地域との交流を広げる取り組みとして、運営推進会議には市職員、町内会、地域包括、家族等の案内を出している方全員に参加していただけるように、運営推進会議と併せて生け花講習などのイベントを開催し、1人でも多くの方に参加していただけるよう工夫しています。職員のモチベーションを高める取り組みでは、各職員に備品、日用品管理、防災、身体拘束、レク等の役割を割り振ることで、業務に対する責任感とやりがいをもって働けるような環境作りをしていきたいと考えています。

#### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	第2バナナ園
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念、「明るく楽しく自由に」をモットーに地域に根差した生活を心掛け、朝夕の申し送りや会議の中で意見交換などをし、交流を図り、利用者様にとってより良い生活の実現を目指し日々実践している。	法人の社是「明るく楽しく自由に」を基に、事業所では、利用者が食べて寝て過ごす自由ではなく、自ら調理やイベントに参加して「美味しかったよ」「楽しいよ」と喜び、職員は「ありがとう」とお礼の言葉を返すと言った、「明るく楽しく自由に」で調和のある生活を送れるような支援を心がけています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し地域の仲間入りをさせて頂き町内の行事、お祭りなどへ進んで参加している。毎月発行されるバナナニュースの配布や施設犬の朝夕の散歩などを通して交流を図り施設を知って頂いたり、町内役員の方のボランティアで犬の散歩や生け花等で日常的に地域の方々と交流している。	町内会に加入しており、町内会主催のお祭り等の行事には積極的に参加しています。毎月発行している「バナナニュース」の配布や施設犬の朝夕の散歩などを通して地域の方と挨拶や等を交わして交流を図っています。町内役員の方がボランティアで週に3回犬の散歩を引き受けて下さっている他、月に4回生け花もしていただいています。土日には有償ボランティアによる清掃も依頼しています。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2か月に一度の運営推進会議を開催しご家族や近隣の方、町内会、地域包括センターとの交流、町内会の行事参加と地域に根差し発信している。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々、ご家族様に参加いただき施設の現状を報告し4月からは拘束委員会も立ち上げ、質疑応答、意見交換などを行っている。又地域の方々やボランティアのイベントを披露して頂いたり情報発信の場として地域にアピールしサービス向上に生かしている。	運営推進会議は地域の方々、家族の参加を得て2ヶ月に1回開催しています。会議では、事業所の現状や活動報告を行い、意見等をいただいています。30年度の4月から身体拘束委員会を立ち上げ、拘束に関する質疑応答や意見交換等を行っています。地域の方々による一輪挿し生け花講習の開催等、イベントを披露していただきながら、情報発信の場として地域にアピールし、運営の向上に生かしています。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	施設管理者を通して地域包括に入居等の相談をしたり区役所福祉課とは生活保護の入居者の方の各種相談、報告等で協力関係を築いている。	管理者は、川崎市のグループホーム運営の指導講習会に出席して今年度の市の方針を把握しています。区の福祉課とは生活保護の各種相談等で協力関係を構築しています。区役所から担当職員がの訪問も2ヶ月に1回あります。また、地域包括支援センターからは、入居者相談等の問い合わせもあり、連携を図っています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内の勉強会などで身体拘束の理解を深め、事業所内では身体拘束委員会を作り運営推進会議、ケア会議、朝夕のミーティングなどで意見交換を通して周知徹底している。	身体拘束については、法人の勉強会等でも理解を深めています。また、身体拘束委員会を中心に運営推進会議、ケア会議、朝夕のミーティング等でも身体拘束についての意見交換を通して周知徹底しています。ベッド上で動く方の安全について、柵の取り付け、ベッド下のマッドの設置、センサーの設置等についての話し合いも行っています。リスク回避は、家族の意向も含めて身体拘束委員会で検討しています。	今後の継続	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記身体拘束の対応と同様に社内勉強会での講習で理解を深め、事業所内ではミーティング、ケア会議など意見交換を通して周知徹底している。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ご入居者様の中には実際に成年後見人がついておられたり、市で行われる集団講習会等にも参加し、社内ミーティングなどで内容などを報告している。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約に関しては本部入居担当者を含めご家族、関係者には詳細にゆっくりと説明し不明な点、わからない点が無いよう対応しており退去の際もご家族が安心して不安が無いよう対応している。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の際ご家族に利用者様のご様子、情報を話したり、ケアプラン等でもご家族の意見要望を聞いたりし運営に反映させている。又、ご家族が意見を言いやすいよう苦情相談ボックスを設けている。	面会時に利用者の生活の様子を伝えると共に、家族の意見等を聞き記録に残しています。また、ケアプラン作成時にも、家族の意見や要望を必ず聞いています。家族が意見を表出しやすいよう苦情相談ボックスを玄関に設置されています。最近では、利用者の衣替えについての要望、カーテンの取り換え、補聴器の電池交換などの相談がされ、検討しています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務の中で職員一人一人とコミュニケーションを取りながら意見や提案などを聞き、社内会議、ミーティングなどで話し合い仕事でのやりがいに反映させている。	管理者は、職員一人ひとりが、日々の業務に当たる姿勢や意見などを確認したり、毎月のケア会議や、その都度開催している業務会議で意見提案を聞くようにしています。最近、職員の提案で回覧申し送りバインダーの添付資料が多くて分かりにくいとの意見があり、新しく分かり易いファイルに一掃しています。	今後の継続	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社内での研修や個々に参加したい外部研修など積極的に参加してもらう様研修の提示している。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人研修や日常業務内での新規職員育成マニュアルを基に職員が人材育成に係りスキルアップしている。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域包括センターが主催する会議に参加したり近隣の施設見学やイベントの情報を頂いたり情報の共有を図る。			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族やご利用者についての情報をなるべく多く収集し本人が安定できる環境の提供を心掛け、職員が統一したサービスの提供を図り情報を共有している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居契約前、入居後も利用者のみならずご家族にも不安や心配が無いようにアセスメントを行い要望などが言える環境、関係づくりに努める。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	傾聴を基本にご入居前面接等でサマリーの情報や対話の中での情報収集に於いてご利用者様の思いが引き出せるよう対応している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で入居者様が出来る事出来ない事、好きな事、様子を観察しながらなるべく本人に意思決定が出来る様な環境作りに務めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居後もお手紙やお電話等で情報を共有しながら共に利用者様の支えている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られたり、お手紙が届いたり施設にて面会の場の提供や地域でのイベント参加や回想法、故郷話の支援を行っている。	友達や家族が面会に来られた際に面会の場として、リビングや居室で雰囲気作りや場所を提供しています。中には、手紙や電話でのやり取りを継続している方もいるので、継続できるよう支援しています。他にも、夏祭りの神社の出店へ出かける支援や、昔話や故郷の話をしながらの回想法等も行っています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士がお互い助けあい生活し共同生活の中で良好な関わり関係ができる生活の支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院したり退去になってもご家族からの相談依頼に関して積極的に対応している。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様の日々の言動による訴えや何を望んでいるのかを毎日観察、把握している。個人日誌、申し送りノート、毎朝の申し送りで情報を共有している。ケアについて個別・集団の判断で全体バランスを考えてご理解を得ながら支援している。	基本情報や暮らしの情報、これまでの人生の経過、思いや希望について、入所時アセスメント表に記録・把握しています。その後、事業所での日々の支援の中で気付いたことは個人記録、iPad、送りノートに記録し情報を共有しています。その他、往診時の医師のコメント記録、看護師の看護記録も共有しています。これらの記録はケアプランに反映させています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族来園時に若い頃の様子をお聞きしている。アセスメント、聞き取り、日常生活でのコミュニケーション通して気付き情報収集をしている。日々の生活に反映させてご本人の生きがいや生活のメリハリに繋がるよう務めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全職員は入居者様のわずかな変化などの様子を常に観察して、ケアマネジャーを含めた共有情報として心身両面から把握・対応するように努めております。また医療との連携にも大きく影響する分野と捉え記録を細かに報連相を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーが中心になり月に一回ケア会議を開催している。職員の意見も反映される様、3か月に一度モニタリングなどでケアプランを見直し、再度ご家族、ご本人、職員の意見を導入している。	入所時は、初回ケアプランによる支援で約1ヶ月経過観察し、ケアプランを作成しています。ケアプランは、家族の希望、医師や看護師の意見等も盛り込み、職員のケアカンファレンスで様々な角度から検討した後に作成しています。利用者の症状によっては、医師、看護師と家族、職員が直接話し合い医療と介護の両面からより良いケアについて話し合い作成しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人日誌を基礎とし各種個人に関する日々の情報言動、体調等の事項を詳細に記録することを義務付けて内容によっては現在チームを組んでいる施設、・家族・医療（マッサージ等）・行政・地域（ボランティア）への情報提供や協力要請など重要分野と捉えて注力しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常の何気ない会話から「昔よく食べてたわ」「最近そういえば食べてないわ」と話され今度お昼にお花見弁当を作って食べようと計画し実行し喜んで頂いた。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流に力を注いでいる。町内会の行事、小倉神社のお祭り参加、商店街散歩、ご近所へのお花見、近隣住民のボランティアでの定期来園によるカラオケ、生け花会の実施。消防署来園時の講話、音楽療法実施など豊かな生活を送っていただくための資源開発を継続中です。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホリイマームクリニック旗の台が月2回の往診来園で利用者様の健康管理を行っている。ご家族の要望などはその都度医師に伝え往診の医療情報は月に一度ご家族へ報告している。親身な診察でご利用者様の個性を把握し対応している。	協力医療機関からは、月2回の往診があります。歯科等は、入居以前からのかかりつけの医師にかかっている方もいます。契約している看護師の巡回は週1回あり、健康チェックや、医療相談に対応いただいています。また、家族の依頼で訪問マッサージを受けている方もいます。往診の情報は、毎月のお便りで、家族へ報告しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携をとっている訪問看護ステーションなどの看護師が週に1回来園される。日々の状態や医師往診等の情報提供により適切な受診や相談、看護等が受けられる環境体制作りに務めている。救急搬送もあり得るため、24時間体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院対応はご家族との確認を行い取り組んでいる。必要資料、病院側との連携、ご家族様必要に応じて行政機関との連携で普段から良好な関係作りに務めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時や更新時に「重度化した場合（看取り介護）の対応に係る指針」をご家族に説明し了承を得ている。協力医療機関間でご利用者様急変の場合や往診時の対応も共有し職員、医師ご家族で相談し共有しながら対応する体制を整えている。	看取りに関する対応は、入居時及び契約更新時に「重度化した場合（看取り介護）の対応に係る指針」に沿って、家族に説明して了承を得ています。重度化した場合は、改めて家族、医師、職員で、療養型病院等の選択肢も含め、今後の方針を決めています。協力医療機関や、看護師とは24時間のオンコール体制を構築しているので、看取り対応も可能としています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアル規定が整備配置され、全職員は最低限の応急処置・対応ができるように実務スキルを身に付けている。様々なケースが想定されて、社内での研修や外部研修にも参加しスキルアップに励んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署による防災訓練を行い、助言と評価を頂いている。その他、総合防災による定期消防機器点検、通報装置・消火器の使い方、夜間想定での避難訓練を行い、地域の方にも参加を頂き協力を頂ける体制を築いている。	防災訓練は、消防機器の点検も含めて年2回実施しています。1回は消防署の立ち合いと、町内会役員、近隣の方数名の参加を得て、夜間想定での避難誘導訓練と併せて、消火や通報の訓練も実施しています。備蓄品は水、米、レトルト食品などを約3日分準備しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に敬意を払い、尊厳とプライドを損ねる事がないように接するよう職員に周知、指導を徹底している。職員一同、普段よりプライバシー保護を遵守するように心掛けている。	職員は、法人の研修で倫理、個人の尊厳、プライバシーの保護についてしっかり学んでいます。利用者に敬意を払い、尊厳とプライドを損ねることがないように接するよう職員に周知、指導を徹底しています。個人情報に記載されている書類については、プライバシー保護の観点から、鍵の掛かるロッカーに保管しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	原則的には職員ではなくご利用者様に声掛け説明してゆっくと納得・選択して決めていただく様に心掛けている。信頼関係で築けるものでもあるので関係の構築に力を注いでいる。日々、笑顔で希望がもてる生活を送っていただくよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活の流れはあるが、起床、消灯、食事、入浴、やりたい事などご本人の意思・気分・希望などを傾聴によって理解したり柔軟性を持った支援対応をして一日を過ごして頂けるに心掛けている。支援の都合でなく最大限にご本人の自由を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床、入浴時など日々の生活タイミングでの整容支援（衣類交換、衣類の選択、口腔ケアなど）に努めています。これまでの馴染みのある服など大切にしていき、職員と希望により一緒に衣類などをお店に購入に出掛ける事もある。又ご家族の同意を頂き訪問美容も支援実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日常的に調理のお手伝い（皮むき、野菜の切り分け、盛り付け、お茶入れ、食器洗い、テーブル拭き、下膳）など安全を確保し、職員と楽しみながら行っている。家庭菜園を行って、日々収穫を楽しみ、食を通じてのふれあいを大切にしている。	食事は冷凍食品を外注しています。出来る方には盛り付け、お茶入れ、下膳、食器洗い、拭きなどで調理に携わっていただくようにしています。家庭菜園を行っており、日々収穫を楽しみ、みそ汁の具に利用する等、食を通じてのふれあいを大切にしています。川崎大師風鈴市などの外出レクの際は、近くのソバ屋で蕎麦定食などを食べることもあります。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は栄養バランスを考慮して業者提携している。職員と一緒に食事をする事で状態や摂取量、咀嚼状態などが観察でき、状態に応じて医療へとつなげている。水分摂取では好みのものをゼリーに又硬さやとろみの様子、好みを共有し工夫を凝らし支援に努めている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に個々のADLや状態にあわせて一部介助、全介助、見守りなど対応をしてご利用者様の口腔内の清潔保持に努めている。歯磨きシート等も活用している。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の排泄能力やパターンにあわせて声かけや見守り誘導、予知対応に努めている。又排泄関係の薬と照らし合わせて排泄状況を把握し、トイレ頻回の方などの様子を全員で共有し個別の対応をしている。	体調管理表の排泄実績表やその方の排泄能力やパターンに合わせて声かけや見守り誘導、予知対応に努めています。また、排泄関係の薬と照らし合わせて排泄状況を把握し、トイレ頻回の方などの様子を全員で共有しながら、1人ひとりに合った対応を行っています。便秘対策は、医師の処方薬と水分摂取量を職員で共有して水分不足にならないように管理しています。		今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医療機関と情報交換しながら便秘予防強化を図っている。水分摂取は一日の量を職員同士で共有し水分不足にならない様心掛けている。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴支援はご利用者様の要望に合わせて回数を増やせるよう努力している。清潔保持、健康管理、心身の癒しに繋がる重要分野と捉えておりご利用者様に楽しんで頂いている。手動リフト浴槽装置も設置されて、安全にも配慮している。	入浴は、週に2~3回で午前中を基本としています。希望に応じて臨機応変に対応しています。入浴は身体的な健康・清潔保持と、精神的に癒しにつながると捉え、利用者楽しんでもらえるよう工夫しながら入浴支援を行っています。また、浴槽が広いので危険防止の観点から、浴室には手動リフト浴槽装置が備え付けられています。同性介助を希望される方には同性介助で対応しています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居時からアセスメント情報や日常生活において、日中、夜間帯の睡眠・休息習慣等の行動を把握して対応している。定期的なリネン交換、洗濯、布団干、安眠に繋がる様軽い体操等で環境を整えている。又季節に応じた空調管理に配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬は、薬局がセットし誤薬が無いよう事務所管理を徹底している。提供された薬説明書にて効能、副作用等に関し医師、薬局との連携で対応している。急変時の変化に対しても医療機関と連携し安心安全確保を心掛けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各ご利用者様の趣味、特技を把握しており日常生活でそれらを活かせるよう支援している。台所でのお手伝い、清掃、洗濯物たたみカラオケ、習字、お喋りなど日々充実感を持って笑顔でお過ごしになれるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援はご利用者様の体調やADLを考慮しながら行っている。日常生活では、花屋さんやコンビニ、ショッピングセンターへの買い物小倉神社参拝や地域行事への参加、事業所行事として川崎大師風鈴市散策などの外出支援を行っている。ご家族様と外出、外食などへ行かれることもある。	外出支援はご利用者様の体調やADLを考慮しながら行っています。日常生活では、近くのバス通りにある花屋さんやコンビニ、少し離れた大通りにあるサミットショッピングセンターへの買い物、小倉神社参拝や地域行事への参加、事業所の行事として川崎大師風鈴市散策などの外出支援も行っています。家族と外出や外食へ行かれている方もいます。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則金銭管理はご家族様の了解を頂いて施設で管理している。ご利用者様の中にもコンビニやショッピングセンターなどに職員が同行しご希望のものを選択して頂きご自分でお金を払って購入する支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族、友人、ご親戚にお手紙やお電話等の交信をされるご利用者様もいらっしゃる。手紙等は散歩がてらにご本人にポスト投函出来る様支援している。電話については要件によってはお部屋が事務室でプライバシーに配慮しお話しして頂いている。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭や玄関等に四季折々のお花、建物の周りの可愛い庭園、リビング等の共用空間や居室への家庭的な雰囲気作りに努めている。レクリエーション活動で書いた書道や貼り絵の掲示を行い、四季を感じて頂き明るく楽しく過ごして頂けるよう配慮している。	インテリアは、簡素で季節が味わえるように工夫されています。庭や玄関等に四季折々の花、建物の周りの可愛い庭園、リビング等の共用空間や居室への家庭的な雰囲気作りがされています。リビングの目だつ位置に、今月の9月を代表するお月見、栗の実、読書風景、柿の実、大根などの創作品をちりばめた季節アートを飾り、他にもレクリエーション活動で書いた書道や貼り絵の掲示がされています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆さまと一緒に過ごせるリビングが共用空間と考え、時にはお座りになる場所を変えたり壁面に絵を飾り、歌をうたいゲームをしたり洗濯物のたたみを手伝われたり会話を楽しんだり等、ご利用者様同士職員も入ってリラックス出来る居場所作りに努めている。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの物や思いのある品（家族写真等）をお持ちになられその方らしさが現れる居室になっている。誕生日プレゼント色紙や行事などで撮った写真などを飾ったりご本人が満足して頂けるよう支援しております。外の景色が見えるようなベット配置にしている。	居室は、会社の社員寮を改造して作られ、広くて明るい部屋です。入居時に持ち込まれた思い出の品々や家具類が、好きな場所に配置されています。その他にも、誕生日プレゼント色紙や行事などで撮った写真などが飾られています。居室には備品としてエアコン、クローゼット、ベッド、防災カーテンが備え付けてあります。掃除は利用者と職員が一緒に行い清潔に保っています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	それぞれのADLに適した食事やリラックスできる場所・席は出来るだけ意思を尊重し自立で移動歩行が出来る動線を確保している。安全に歩行が出来る様、廊下など随所に手すりが設置されている。転倒、転落防止等の安全安心確保に努めている。			

目 標 達 成 計 画

事業所

第2バナナ園

作成日

平成30年12月30日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	職員の転勤などで町内との交流が途切れがちになってしまっている。	町内の行事、お祭りなどには参加しているので、引き続き交流を続け、運営推進会議や事業所内行事などでも情報を発信し地域にアピールしていく。	引き続き毎月発行しているバナナニュース配付、町内ボランティアの方との交流町内行事の参加、事業所内行事での情報交換などを続けていく。	年間計画及び永年実施
2	18	ご家族と疎遠になっている方や遠方にいらっしゃる方の支援、関係づくり。	ご本人が寂しい思いをされない様、毎日生き生きをした関係づくりをしていく。	ご利用者様との関わりの中で自由な意思決定ができる環境づくりをスタッフ一同で努めていく。	年間計画及び永年実施

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。